

兵庫芸術文化センター管弦楽団 特別演奏会

HYOGO
PAC Performing Arts Center
ORCHESTRA



佐渡 裕

アルプス交響曲

オーケストラ総勢約120名!
佐渡芸術監督&PACだからこそ実現できる
壮大な音楽絵巻

R. シュトラウス: アルプス交響曲 op.64
Richard Strauss: Eine Alpensinfonie, op.64

指揮・芸術監督: 佐渡 裕
Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

© 飯島隆



管弦楽: 兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

約60分: 休憩なし

2020. **9/19 土・20 日** 2:00PM開演(1:00PM開場) A ¥4,000 B ¥3,000 C ¥2,000 D ¥1,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口
JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 10:00AM~5:00PM(月曜休 ※祝日の場合翌日)

8/2日
発売

チケット 予約 芸術文化センター ▶ 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
e+(イープラス) ▶ <http://eplus.jp> ローソンチケット ▶ <http://l-tike.com> チケットぴあ ▶ <http://pia.jp/t/>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター
[8/4(火)より、残席がある場合のみ]

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、
出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

佐渡裕 アルプス交響曲

佐渡裕とPACだからこそできる挑戦! 音楽でアルプス登山の旅へ—

新型コロナウイルスの影響により、9月より始まる2020-21シーズンは従来のような定期演奏会は当面の間、取り止めることとなりました。それに伴い、プログラムの再考を余儀なくされましたが、もともと新シーズンのオープニングに選んでいたこの「アルプス交響曲」だけはぜひ取り上げたい!という佐渡芸術監督の強い思いにより、特別演奏会として開催する運びとなりました。

とはいえ、「アルプス交響曲」は約120名の奏者を必要とする曲。奏者間のソーシャルディスタンスを取り、大人数のオーケストラが舞台上に乗ることはできるのでしょうか。実は会場となるKOBELCO大ホールは四面舞台となっており、舞台上の音響反射板の背後と舞台袖にも、舞台と同じ広さの空間が隠れています。今回は音響反射板を後ろに下げ、舞台面を大きくすることによって実現することができました。

1915年に初演されたリヒャルト・シュトラウス「アルプス交響曲」は、シュトラウスの10代の頃のアルプス登頂経験をもとに作られたと言われています。約1時間の交響曲は、夜明け前の描写からスタート。ふもとを出発した登山者は森に入り、小川や滝の音、牧場の牛の鳴き声を聴きながら進みます。幾多の難所を乗り越えて頂上へ。山頂にたどり着いた時の音楽は、眼下に広がるアルプスの雄大な風景を想像させることでしょう。下山中の激しい嵐は、ウィンドマシーンやサンダーマシーンを用いて表現されます。他のオーケストラ公演ではなかなかお目にかかることのない、珍しい楽器が登場するのもこの作品の聴きどころです。

アルプス交響曲は、遠出することが難しくなった今だからこそ聴いていただきたい作品です。佐渡裕と約120名の奏者が繰り広げる迫力の演奏で、約1時間の登山の旅をご堪能ください!

佐渡裕 (指揮・芸術監督) Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。パリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン放送交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団(現・NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団)等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年9月より、オーストリアを代表する110年以上の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団音楽監督に就任し、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。また、オランダジュ音楽祭「蝶々夫人」(演奏:スイス・ロマン管弦楽団)、トリノ王立歌劇場「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演も実績を重ねている。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDは「ベートーヴェン〈運命〉/シューベルト〈未完成〉(ベルリン・ドイツ交響楽団)」など多数リリース。最新盤は、トーンクンストラ管弦楽団を指揮した14枚目のCD「佐渡裕×辻井伸行 ラヴェル作品集」を2020年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生~指揮者は時間を彫刻する~」(PHP新書/PHP文庫)などがある。オフィシャルファンサイト:<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>

兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとしてオープンした兵庫県立芸術文化センターの専属オーケストラとして2005年9月に設立。楽団員の在籍期間は最長3年。日本をはじめ、ヨーロッパ、アメリカなどでオーディションを行い、世界各地から将来有望な若手演奏家を集め、様々な公演を通じオーケストラ奏者としての経験を積み、優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラである。芸術監督は世界的に活躍する指揮者である佐渡裕が創設時より務め、地元にも愛されるオーケストラとして地域に密着した活動を行っている。定期会員数は4,300名を超え、定期演奏会の回数は9回27公演と国内でもトップクラスである。その他、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。<http://hpac-orc.jp>

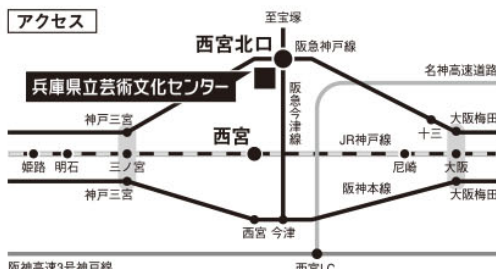
チケットご購入のお客様へ お願い

新型コロナウイルスに対する感染予防対策にご協力をお願いします。

※下記内容につきましては、今後の状況により変更となる可能性があります。

- ▶ 芸術文化センターでの販売は、来場者情報把握のため、先行予約会員に登録いただける方に限定させていただきます。
- ▶ チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。
- ▶ 入場者数を制限して販売いたします。
- ▶ プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。
- ▶ 37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
- ▶ マスクを着用されない方はご入場いただけません。
- ▶ 感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の〈当センターをご利用のお客様へ〉をご確認ください



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。